

# エッジコンピューティングIaaSシステムをStarBEDの計算機リソース上で動作検証 サービスに適したエッジ資源を提供するエッジコンピューティングインフラを提案

研究テーマ

エッジコンピューティング基盤技術の実証

研究実施機関

情報通信研究機構

研究の概要

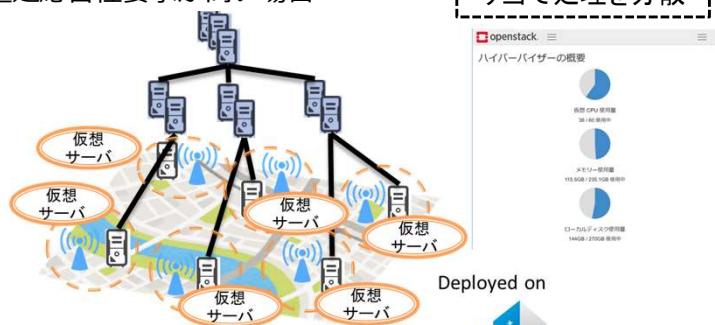
エッジコンピューティングでは、低遅延応答性能やプライバシー要件を満たすデータの流通範囲等、サービスに応じた要件を満たす資源配置が重要である。本研究では、様々な要件を満たす資源提供を容易にするため、「仮想リージョン」に基づく資源制御機能を持つエッジコンピューティングIaaSシステムを提案して、システム上での実証評価を行う。

## NICT総合テストベッドを活用した研究成果

サービス要件に応じた資源割当をStarBED上で展開したシステムで実現

- 低遅延応答性要求が高い場合

複数の仮想サーバに動的に資源を割り当て処理を分散



- 低遅延応答性要求が低い場合

上位エッジの仮想サーバで処理を継続



StarBED利用規模  
物理ノード20台

StarBED上で、仮想リージョンに基づくエッジコンピューティングIaaSシステムを動作させ、各機能の実行時間や、計算機やネットワークにかかる負荷を計測して、実システムとしての実現性を確認

